

## 【ご案内】

## 「家庭科の授業を語る会（第188回）」の開催

11月に入ってようやく秋らしい気候になってきました。そろそろ紅葉の便りも聞こえてくる頃ですが、寒暖差が大きくなっていますので、どうぞ体調管理にお気をつけ下さい。

さて、第188回の「語る会」では、卒業論文で高校家庭科での金融教育について検討を進めている学部4年生の梨岡さんに、中間発表を兼ねて話題提供をしてもらいます。金融経済教育推進会議が示した「金融リテラシーマップ」の最新版を確認しながら、家庭科での金融教育の方向性について検討していければと考えています。今回は、Zoomのみでの開催となりますので、ご注意ください。

- 日時 : 2023年11月18日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時(参加費:無料)
- 場所 : 下記アドレスに接続下さい↓  
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=OE9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3lDQT09>  
 ○ミーティングID: 831 0045 6711      ○パスコード: &8q.XLci
- 話題 : 高等学校家庭科における金融教育についての検討
- 話題提供者 : 梨岡さくら (宮崎大学4年生)

## 「家庭科の授業を語る会（第187回）」（2023年10月21日）の報告

○話題 : 中学校における衣生活の授業検討

○話題提供者 : 秋吉理佳 (清武中学校) ・ 吉野亜耶乃 (檜中学校)

第187回の語る会では、檜中学校の吉野先生と清武中学校の秋吉先生に中学校における衣生活の授業について話題提供していただきました。吉野先生は「よりよい衣服の選択と手入れができるようになるよう」という題材を貫く課題のもと、全10時間の授業構成で、協力・協働、健康・安全・快適、生活文化の継承、持続可能な社会の構築の4つの視点別に毎時間の振り返りを行うという手立てをされていました。そして自らの衣生活の課題に目が向くよう、衣服の取扱い説明書の作成を計画されていました。取扱い説明書をクラスの共有財産とし、自分の課題解決の手段にできるようにすることや、説明書の作成以前の学習内容を定着させておくことの重要性について意見が交わされました。また、生徒が自分の衣生活の実態を把握することやいかに衣生活に関わっていないかを意識させることが大切とのことでした。

一方、秋吉先生は「自立した衣生活をおくるために必要なことは何だろう」という題材を貫く課題で、全8時間の授業を構成されていました。生徒にとって最も身近である衣服の収納が1時間目に設定され、衣服の選択、手入れ、働き、日本の衣生活文化の学習を通し、自らの衣生活について考えることをまとめとされていました。今回、同じ衣生活の分野であっても、順番や活動によって授業が大きく変わることを実感しました。私も先生方のように、様々な方法や内容について考えを深め、より良い授業を行えるようになりたいと思いました。

(文責: 宮寄)

連絡先: 家庭科の授業を語る会 (事務局)

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美 (大学院教育学研究科) : Tel/Fax 0985-58-7539 (直通)

: メールアドレス [e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp)

大矢 英世 (教育学部) : Tel/Fax 0985-58-7542 (直通)

: メールアドレス [hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp)

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ: <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter: fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOHOpr7qtF2EVwi>